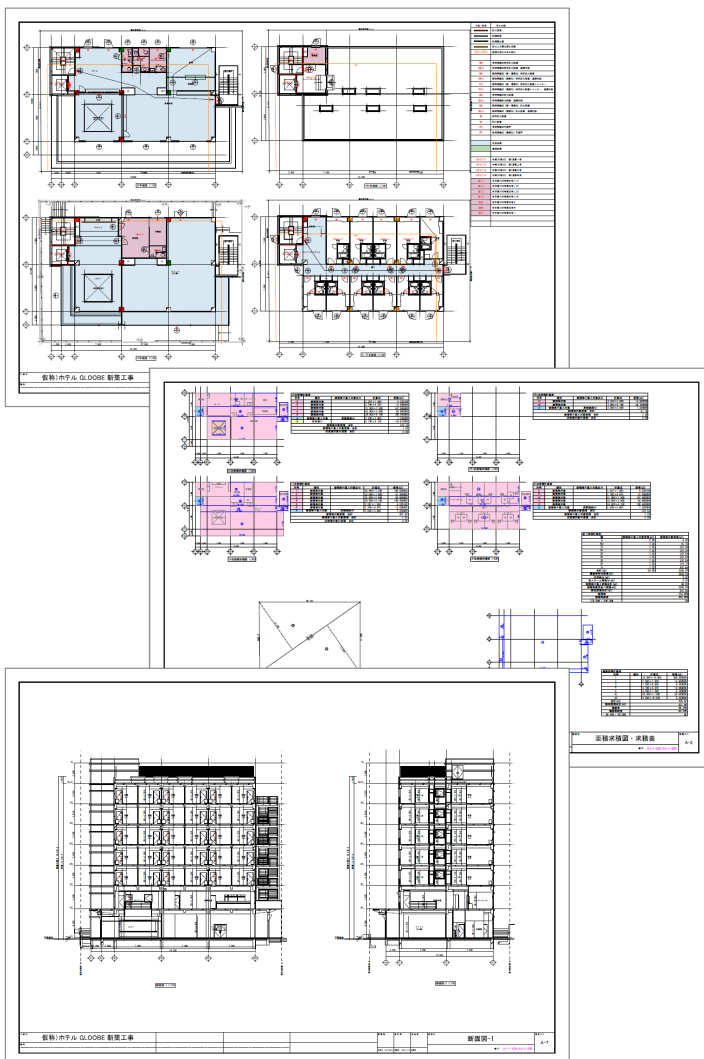


導入マニュアル

確認申請図解説



はじめに _____ 2

1 平面図 _____ 3

1-1 部材のプロパティ設定 _____ 3

1-2 凡例表付き用紙枠の配置 _____ 8

1-3 平面図の配置 _____ 9

2 床面積求積図 _____ 10

2-1 申請面積の入力 _____ 10

2-2 床面積求積図・表の配置 _____ 12

3 断面図 _____ 14

3-1 地盤面の算定 _____ 14

3-2 階数・高さ確認 _____ 15

3-3 断面図の配置 _____ 16

1 平面図

ここでは、凡例に沿った確認申請用の平面図を作成する操作を解説します。

1-1 部材のプロパティ設定

「凡例」の機能を使用すると、部材のプロパティが色分け表示され、正しく設定されているか確認が容易になります。凡例から部材のプロパティを割り当てることもできます。ここでは、凡例の使い方とプロパティの設定手順について解説します。

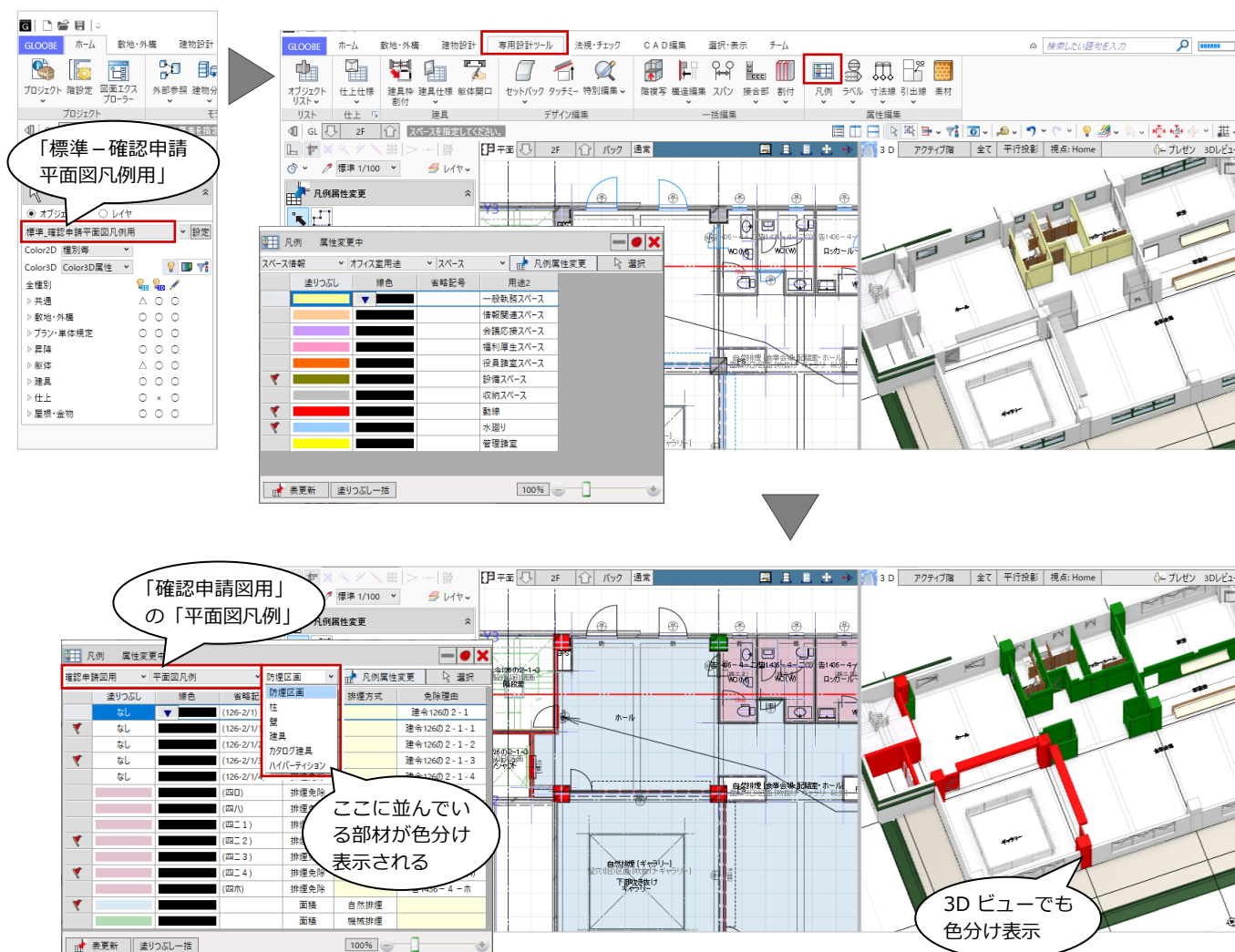
凡例からプロパティを確認する

表示を設定する

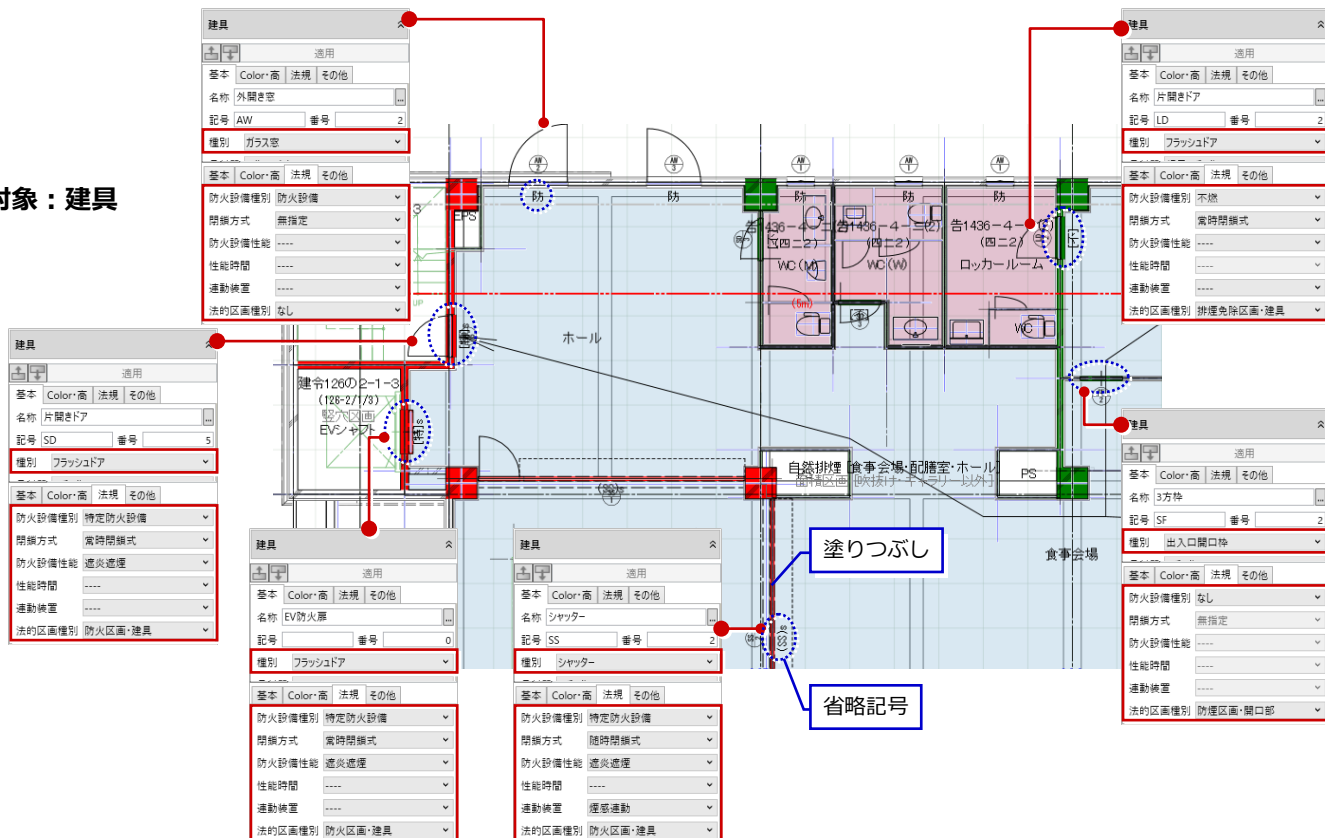
凡例を使って確認申請用の平面図を作成するときは、表示設定を「標準－確認申請平面図凡例用」に切り替えましょう。この設定を使用することで、確認申請図用の凡例で表示した際に、モデルの状態が確認しやすくなります。

凡例を参照した表示に切り替える

「専用設計ツール」タブの「凡例」をクリックして、テンプレートから「確認申請図用」の「平面図凡例」を選ぶと、部材のプロパティを参照して、凡例に設定されている内容で部材が色分け表示されます。



対象：建具



凡例

確認申請用 平面図凡例

塗りつぶし	特色	省略記号	種別	防火設備種別	開鎖方式	防火設備性能	運動装置	法的区分種別
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎遮煙	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎遮煙	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	出窓	防火設備	無指定	---	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラスドア	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区分画・建具

対象：カタログ建具

凡例

確認申請用 平面図凡例

塗りつぶし	特色	省略記号	種別	防火設備種別	開鎖方式	防火設備性能	運動装置	法的区分種別
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラスドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	特定防火設備	常時閉鎖式	遮炎	---	防火区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュドア	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラリ	不燃	常時閉鎖式	---	---	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	ガラス戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区分画・建具
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	フラッシュ戸	不燃	常時閉鎖式	---	煙感運動	排煙免除区分画・建具

対象：ハイパーパーティション

凡例

確認申請用 平面図凡例

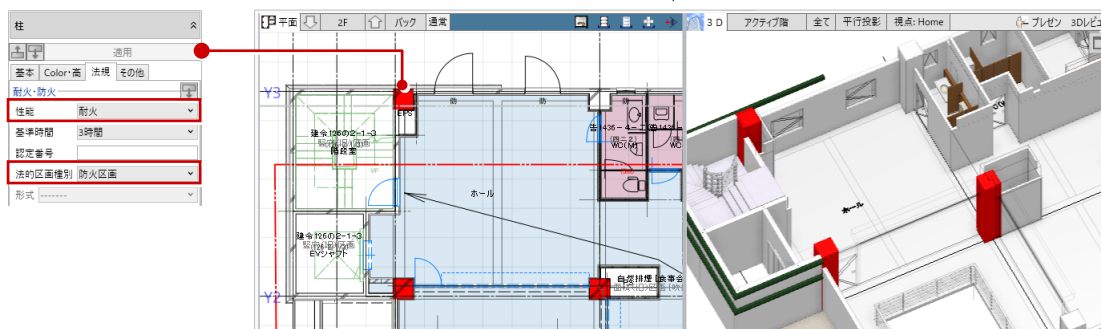
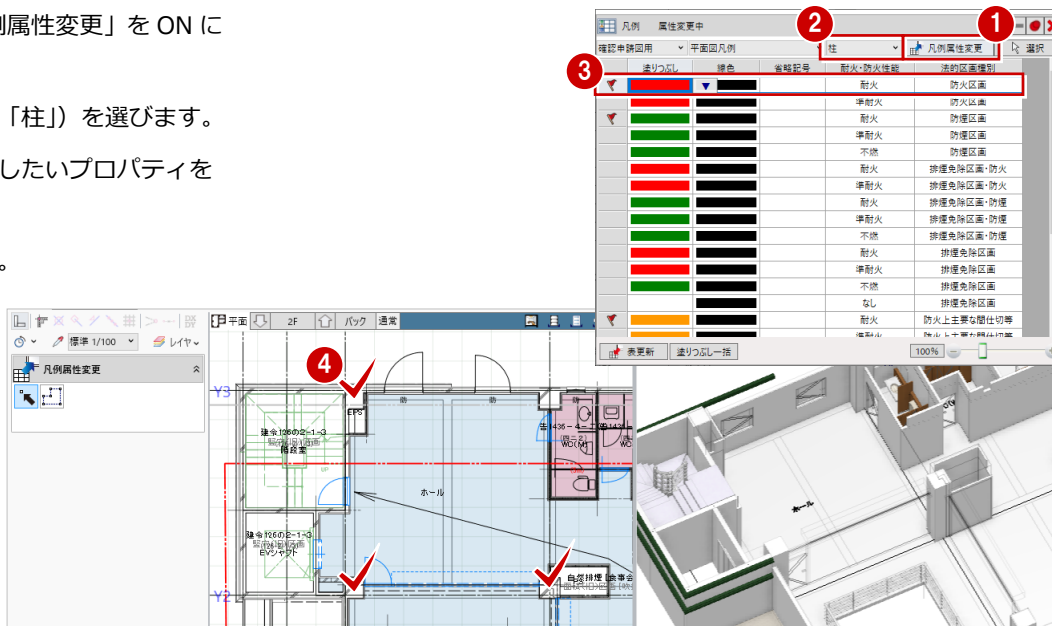
塗りつぶし	特色	省略記号	法的種別	法的区分種別
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	耐火	防火区分画
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	不燃	防護区分画
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	耐火	排煙免除区分画・防火
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	不燃	排煙免除区分画・防護
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	なし	排煙免除区分画
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	耐火	防火上主要な居住切等
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	耐火	その他居住切等
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	不燃	その他居住切等
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	準不燃	その他居住切等
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	難燃	その他居住切等
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	なし	その他居住切等
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	耐火	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	不燃	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	準不燃	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	難燃	なし
[塗りつぶし]	[特色]	[省略記号]	なし	なし

凡例からプロパティを変更する

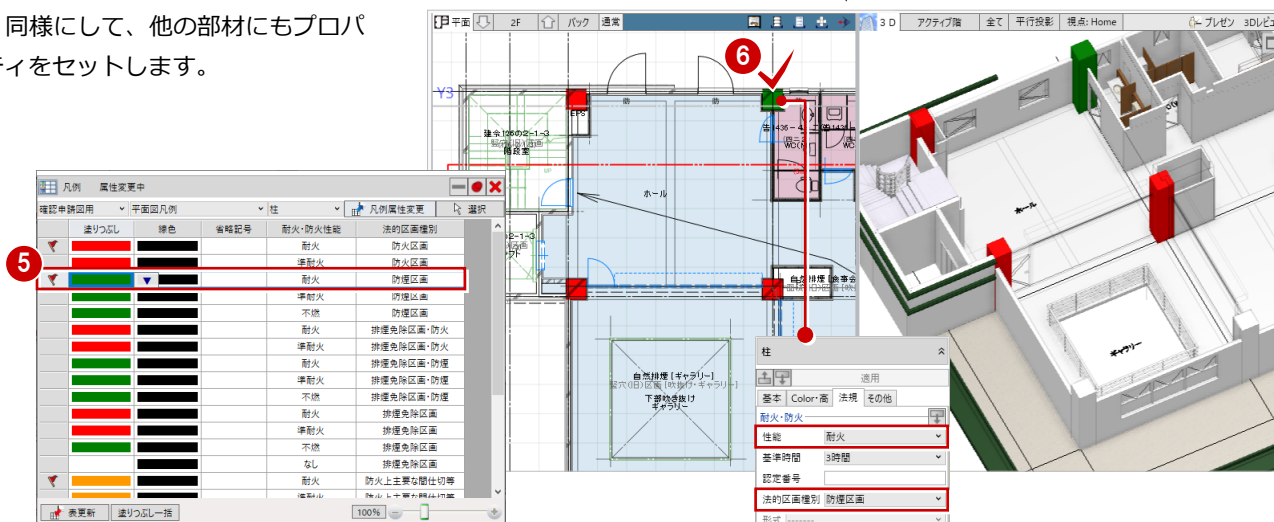
部材のプロパティが正しく設定されていないと、塗りつぶしや省略記号が表示されません。

この場合は、凡例から部材のプロパティを変更することができます。

- ① 「凡例」パネルの「凡例属性変更」を ON にします。
- ② 対象の部材（ここでは「柱」）を選びます。
- ③ 凡例の一覧から、設定したいプロパティを選びます。
- ④ 部材をクリックします。



- ⑤⑥ 同様にして、他の部材にもプロパティをセットします。

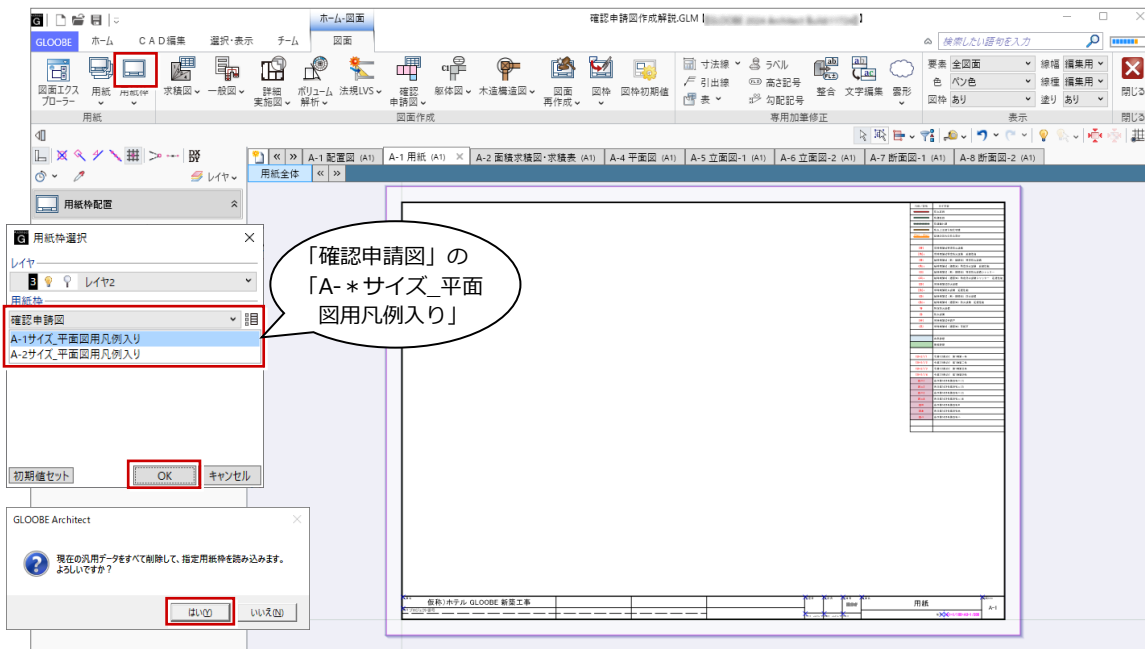


1-2 凡例表付き用紙枠の配置

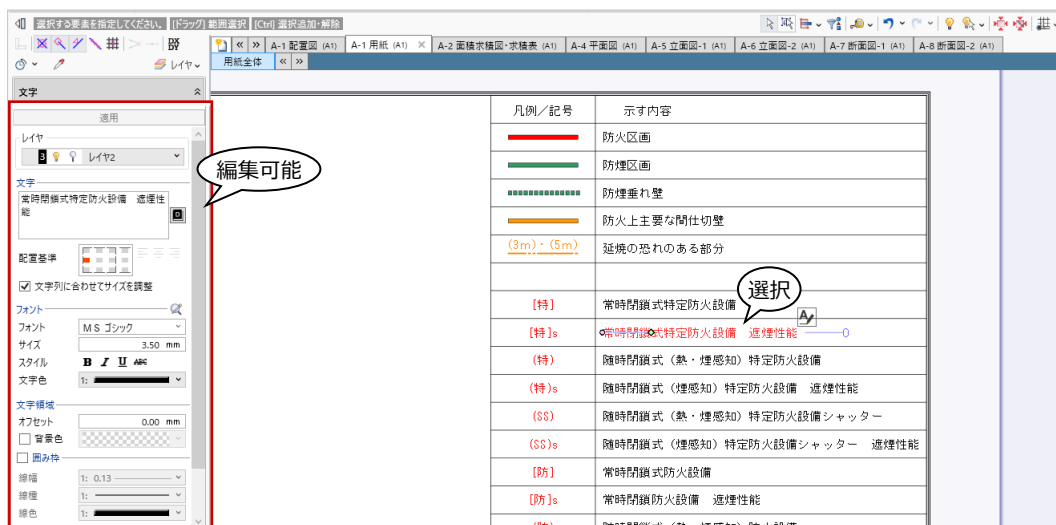
図面・GLOOBE シートの「用紙枠配置」で、テンプレートから「確認申請図」の「A-*サイズ_平面図用凡例入り」を選ぶと、右側に凡例表がレイアウトされた用紙枠を配置できます。

凡例表を編集するときは、文字列や塗りつぶしを選択して、プロパティを変更してください。

【用紙枠の配置】



【凡例表の編集】

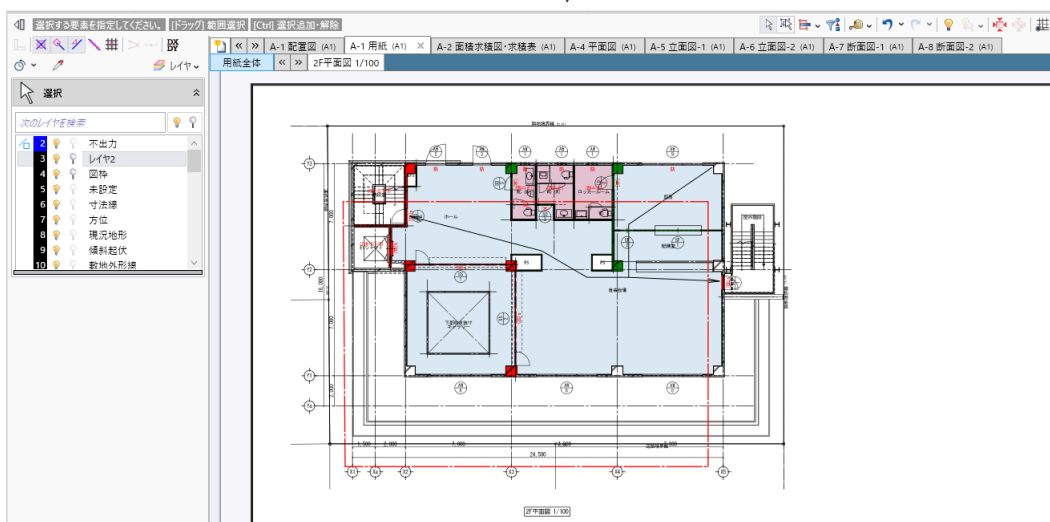
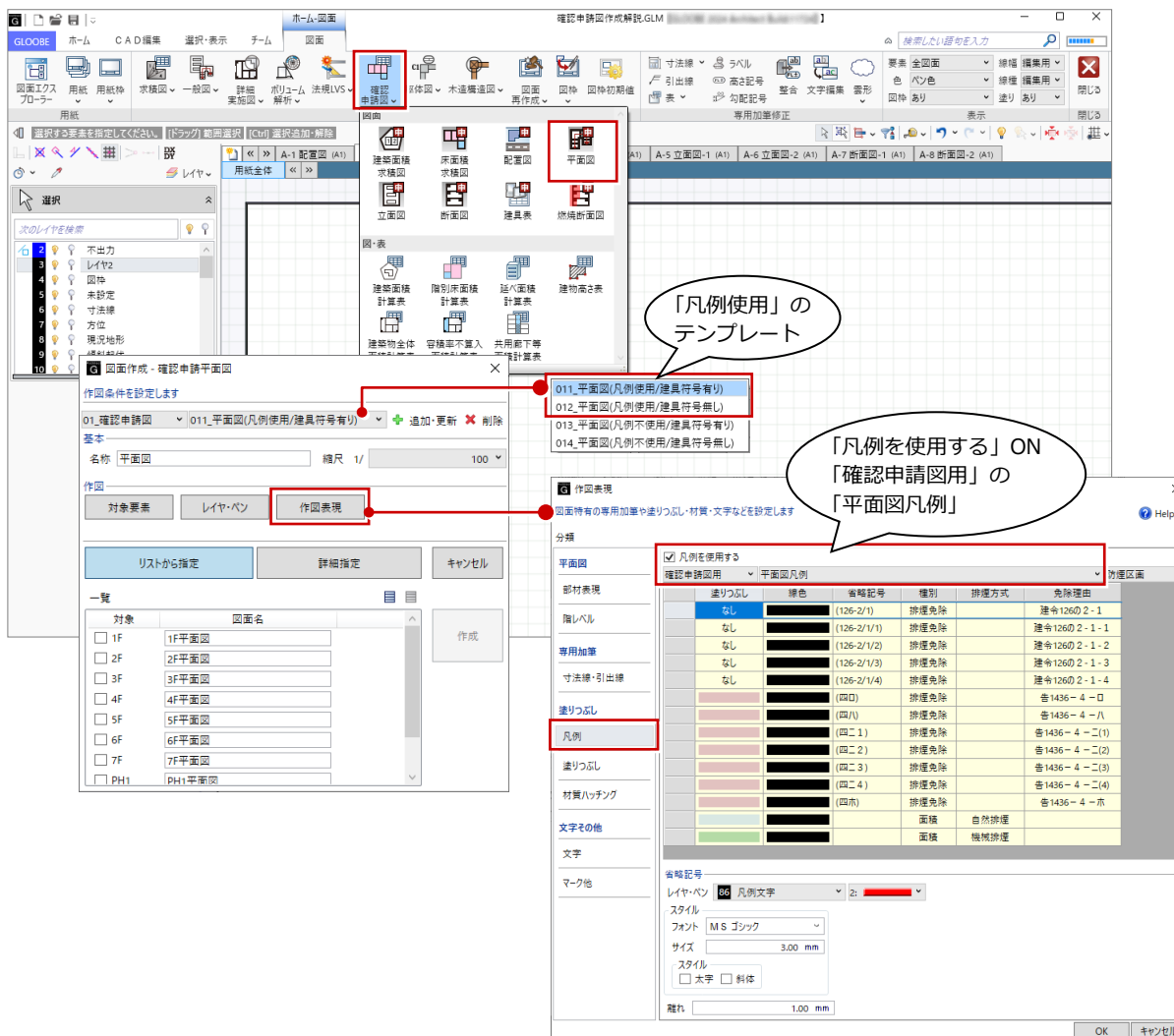


1-3 平面図の配置

確認申請用の平面図を作図するときは、「確認申請図」メニューの「平面図」を使用します。

作図表現（凡例）で「凡例を使用する」をONにして「確認申請図用」の「平面図凡例」に設定しておくこと、部材の塗りつぶしと省略記号をモデルと同じ表現で作図できます。

「01_確認申請図」の「・・・平面図（凡例使用・・・）」と記載されているテンプレートは、この設定になっています。



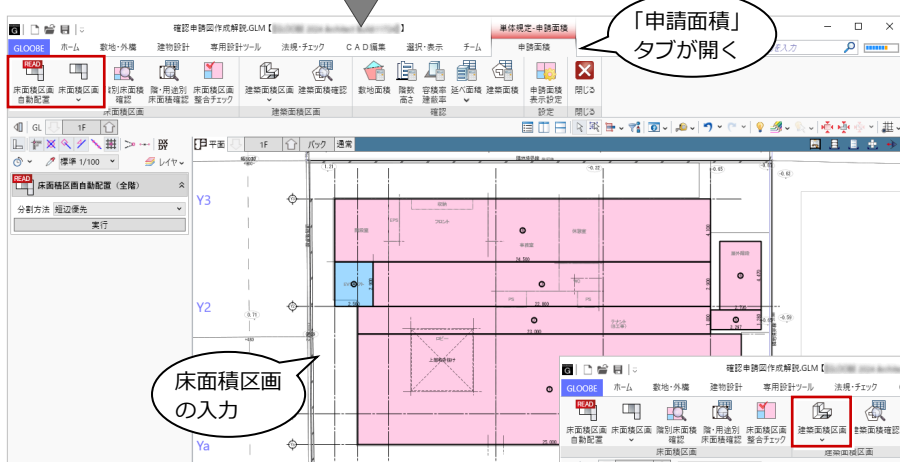
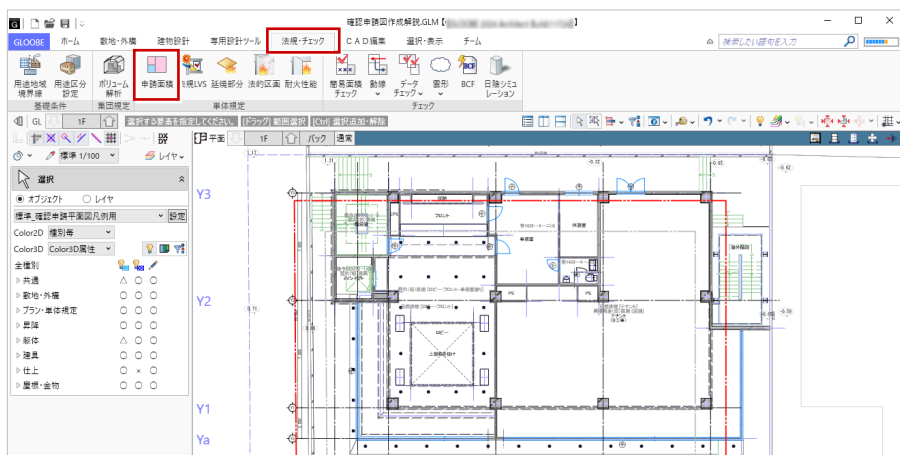
2 床面積求積図

ここでは、区画の種別ごとに色分けした床面積求積図・計算表を作成する操作を解説します。

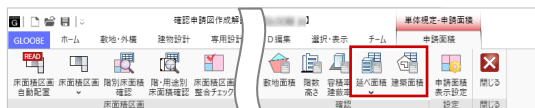
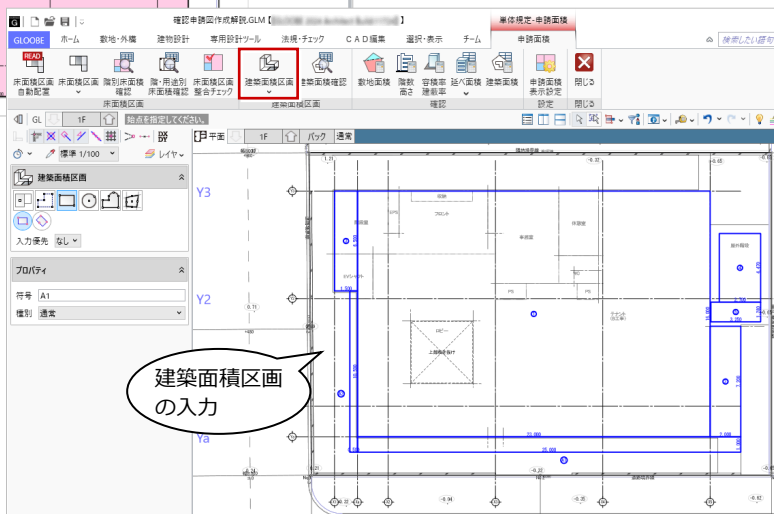
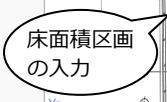
2-1 申請面積の入力

「法規・チェック」タブの「申請面積」をクリックすると、建築面積・床面積区画を入力して、容積率、建蔽率、建物高さなどを確認する「申請面積」タブが開きます。

申請に必要な面積に関わる情報を、モデル構築段階でまとめて入力・編集することができます。



⇒ 各コマンドの操作方法は、ヘルプを参照してください。



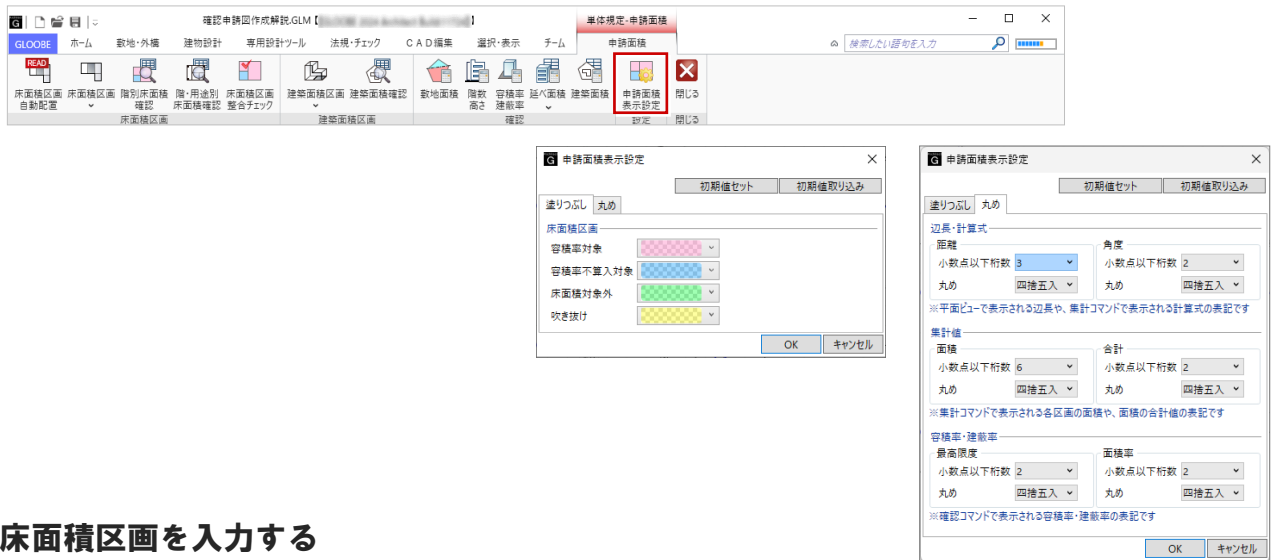
種別	容積率不介入対象面積(m ²)	容積率対象面積(m ²)
階	0.00	0.00
R	7.25	41.75
PH1	7.25	327.48
7F	7.25	327.54
8F	7.25	327.54
9F	7.25	327.54
4E	7.25	327.54
3F	7.25	327.54
2F	7.25	310.73
1F	7.25	401.94
合計	58.00	2392.05

項目	値
建築物全体面積	58.00 + 2392.06 = 2450.06 m ²
住宅部分	0.00 m ²
専ら小売部分	0.00 m ²
容積率不介入面積合計	58.00 m ²
容積率対象建築面積	2450.06 - 58.00 = 2392.06 m ²
容積率対象延床面積	631.66 m ²
容積率	2392.06 / 631.66 = 378.69 %
容積率限度	400.00 %
容積率判定	378.69 < 400.00 OK

項目	値
建築面積・建築確認	438.63 m ²
建築面積合計	438.63 m ²
敷地面積合計	631.66 m ²
建蔽率	69.44 %
建蔽率限度	80.00 %
建蔽率判定	69.44 < 80.00 OK

塗りつぶしや丸めを設定する

「申請面積」タブの「申請面積表示設定」で、床面積区画の塗りつぶしや距離・面積などの丸め方法を変更できます。この設定は、図面・GLOBEシートで「確認申請図」メニューの床面積求積図・階別床面積計算表を配置するときにも使用されます。

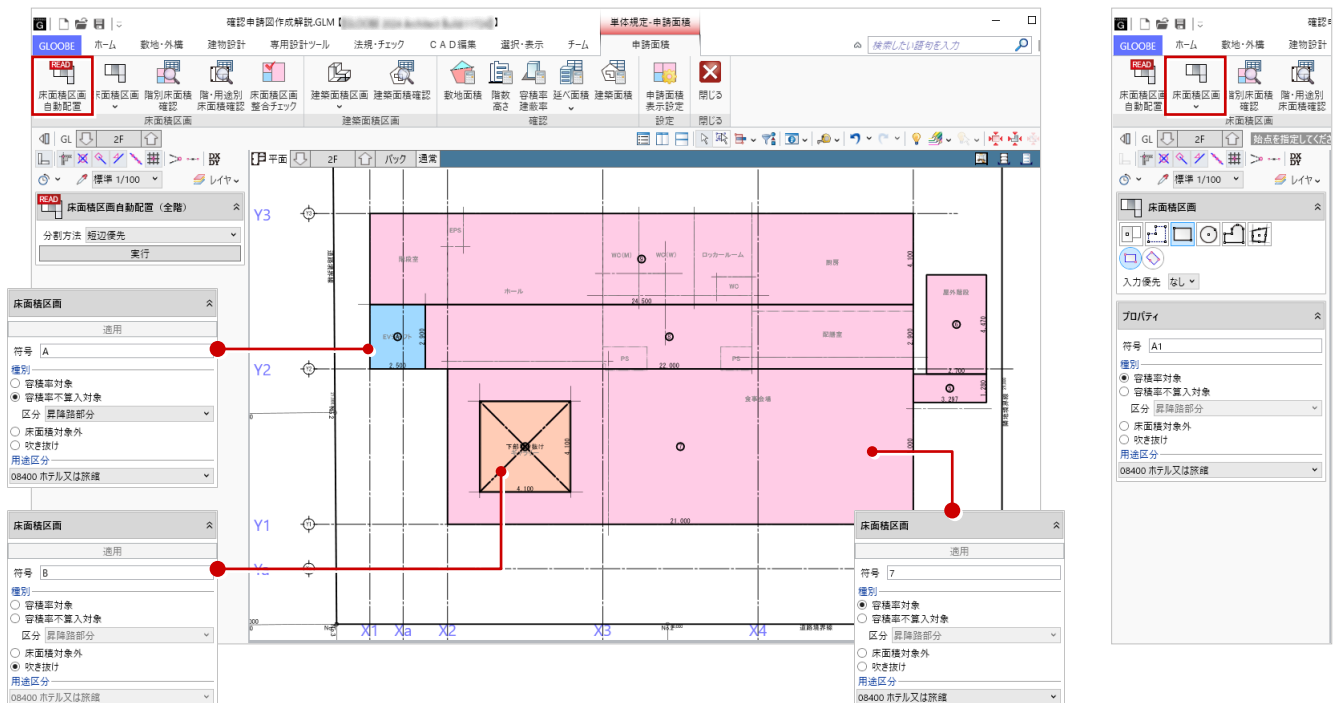


床面積区画を入力する

「申請面積」タブの「床面積区画自動配置」を使用すると、スペースのプロパティ「法規」タブ および「用途区分設定」の階ごとの用途区分の情報を参照して、全階の床面積区画を自動作成できます。

個別に入力する場合は、「床面積区画」コマンドで「種別」および「用途区分」を選んで入力します。

床面積区画は、「申請面積表示設定」を参照して種別ごとに色分け表示されます。



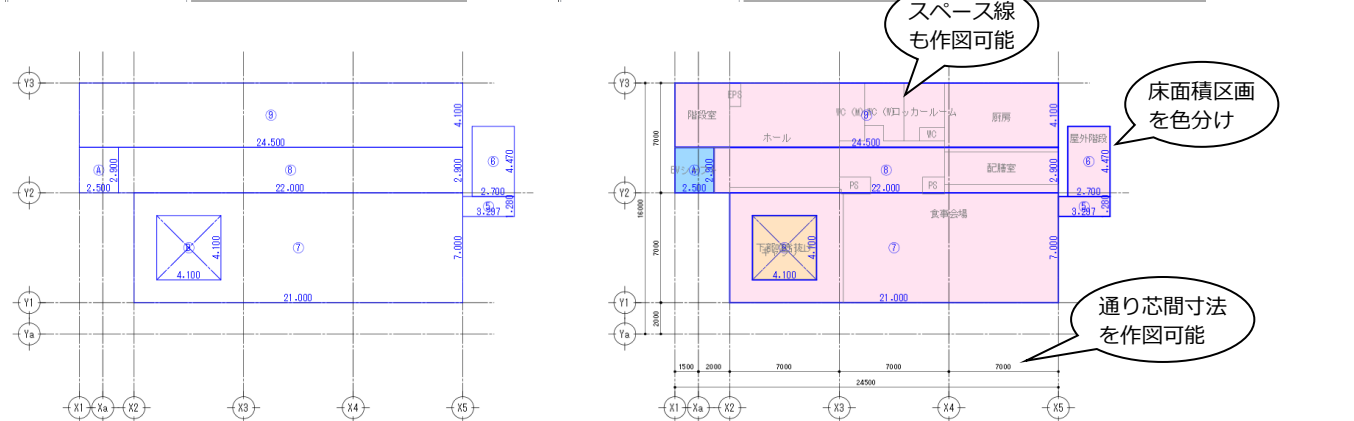
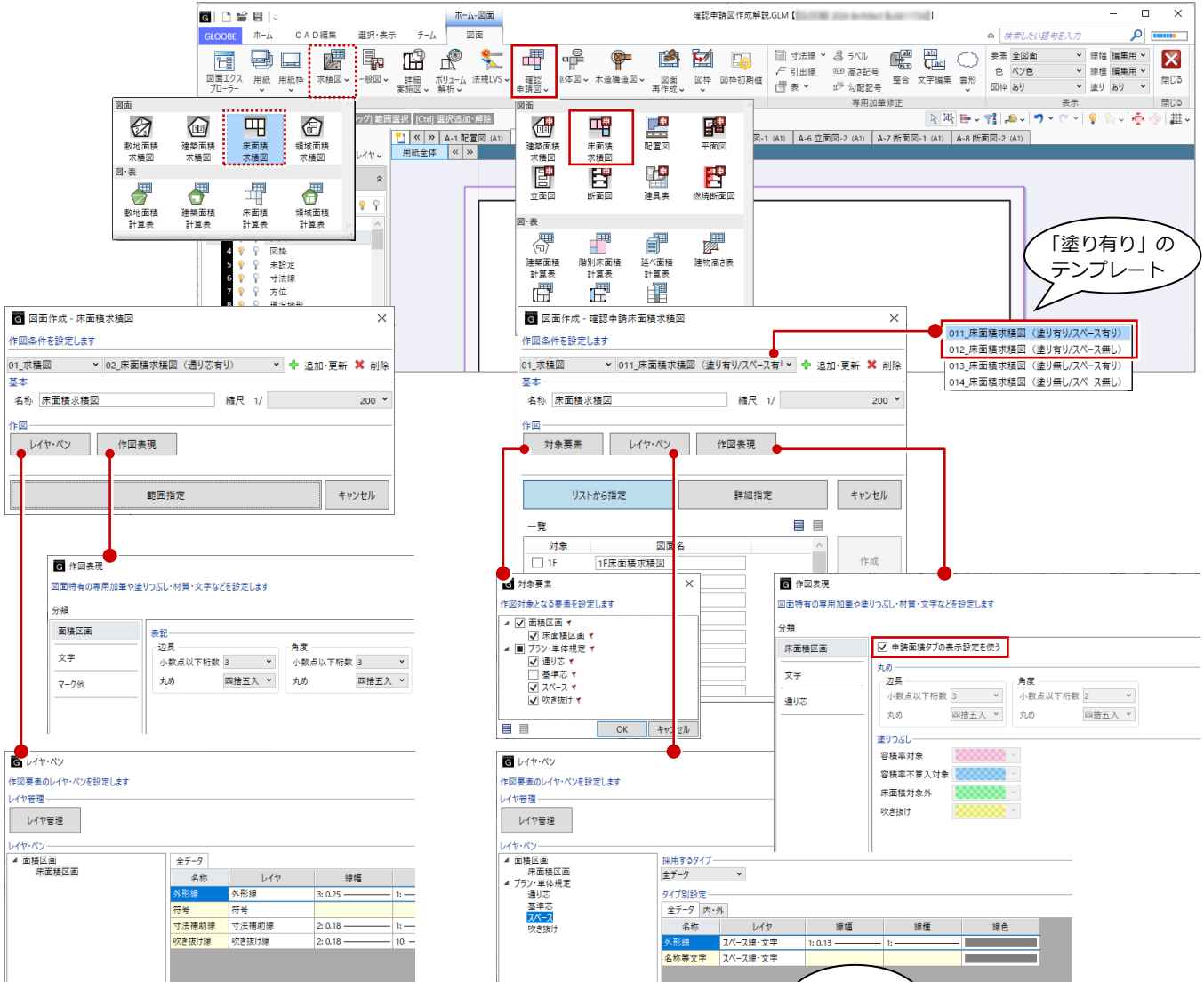
加算区画	容積率対象	容積率・床面積対象とする区画を入力します。
	容積率不算入対象	床面積のみ対象とする区画を入力します。 ※ EV シャフト、共同住宅の共用廊下など
	床面積対象外	容積率・床面積対象外とする区画を入力します（施工床面積）。 ※ バルコニーやポーチなど
減算区画	吹き抜け	吹き抜けの区画を入力します。

2-2 床面積求積図・表の配置

床面積求積図を配置する

床面積求積図の配置コマンドは「求積図」メニューにもありますが、「確認申請図」メニューの「床面積求積図」を使用すると、床面積区画の塗りつぶしや通り芯間寸法の自動描画、スペース線の作図も可能です。

作図表現（床面積区画）で「申請面積タブの表示設定を使う」を ON にすると、「申請面積表示設定」で設定した色分けや丸めが参照されます。「01_求積図」の「・・・(塗り有り・・・)」と記載されているテンプレートは、この設定になっています。



「求積図」メニューの「床面積求積図」

「確認申請図」メニューの「床面積求積図」

床面積計算表を配置する

「確認申請図」メニューの「階別床面積計算表」を使用すると、床面積区画の種別ごとにセルを色分けできます。作成階を複数指定して連続作図することもできます。

連続作図が可能

「申請面積表示設定」の「丸め」タブと連動

作図する項目を設定可能

セルを色分け

床面積計算表	符号	種別	容積率不納入対象区分	計算式	面積(m ²)
塗りつぶし	5	容積率対象		2,297 × 1,280	4,220.160
	6	容積率対象		2,700 × 4,470	12,069.000
	7	容積率対象		31,000 × 7,500	147,000.000
	8	容積率対象		22,000 × 2,900	63,800.000
	9	容積率対象		24,500 × 4,100	100,450.000
	4	容積率不納入対象		2,500 × 2,900	7,250.000
	3	吹き抜け		4,100 × 4,100	-18,810.000
		容積率対象面積		合計	219,339.160
		容積率不納入対象面積		合計	7,251.000
		床面積対象外面積		合計	0.000

3 断面図

ここでは、地盤面から「塔屋部分を除外した建物の最高の高さ」と「軒高」の寸法線が作図された断面図を作成する操作を解説します。

3-1 地盤面の算定

地盤面の高さを算定するには、「法規・チェック」タブの「ポリウム解析」をクリックして、「地盤計算」タブのコマンドを使用します。「モデル読み込み（地盤算定用）」または「地盤算定用建物」で建物の外周上の点と地盤が接する高さを設定し、「地盤算定」で平均地盤高を算出すると、その結果が「敷地境界・地盤」のプロパティにセットされます。

地盤算定用建物を
入力して高さを設定

頂点	名称	高さ(mm)
1		-320.00
2		-320.00
3		-320.00
4		-320.00
5		-650.00
6		-650.00
7		-650.00
8		-650.00
9		-650.00
10		-650.00

平均地盤高
を算定

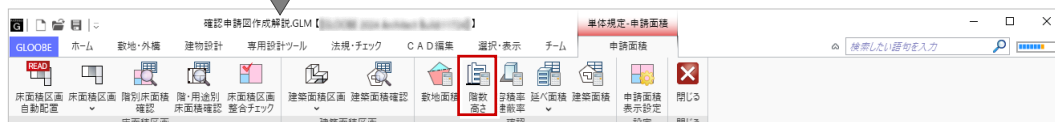
平均地盤高
-0.4924 m

プロパティに
セットされる

3-2 階数・高さ確認

「申請面積」タブの「階数・高さ確認」では、昇降機塔などの塔屋部分を階数や高さ算入するかどうかを判定し、地盤高を考慮した建物の「最高の高さ」と「軒高」を確認できます。

ここで計算した「最高の高さ」と「軒高」で、断面図に寸法線が作図されます。



Default Group	
パントハウス階算入判定	
建築面積	限度面積
438.63 m ² × 1/8 =	54.83 m ²
階名称	水平投影面積 (m ²) 階数・高さ計算
PH1	49.00 不算入
階数	
地階を除く階数	7
地階の階数	0
昇降機塔等の階の数	1
高さ	
最高の高さ	24342.4 mm
最高の軒の高さ	23292.4 mm
地盤面の高さ	設計GL± -172.4 mm
<input type="button" value="エクスポート"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

【PH 階の水平投影面積が
建築面積の 1/8 以内の場合】

Default Group	
パントハウス階算入判定	
建築面積	限度面積
438.63 m ² × 1/8 =	54.83 m ²
階名称	水平投影面積 (m ²) 階数・高さ計算
PH1	73.50 算入
階数	
地階を除く階数	8
地階の階数	0
昇降機塔等の階の数	0
高さ	
最高の高さ	26972.4 mm
最高の軒の高さ	26322.4 mm
地盤面の高さ	設計GL± -172.4 mm
<input type="button" value="エクスポート"/> <input type="button" value="閉じる"/>	

判定が「算入」
の場合はパント
ハウス階を加算

【PH 階の水平投影面積が
建築面積の 1/8 を超える場合】

3-3 断面図の配置

断面図の配置コマンドは「一般図」メニューにもありますが、「確認申請図」メニューの「断面図」を使用すると、寸法線の追出し基準は「地盤面」固定になり、「階数・高さ確認」で計算した「最高の高さ」と「軒高」の寸法線が作図されます。

「確認申請図」メニューの「断面図」

断面作成 - 確認申請断面図

追出し基準は「地盤面」固定

「階数・高さ確認」の「最高の高さ」「最高の軒の高さ」の寸法を作図

項目	値
Default Group	Default Group
建ぺい率	438.63 m ² × 1/8 = 54.83 m ²
水平投影面積 (m ²)	49.00
階数	7
地階を除く階数	0
地階の階数	0
昇降機探等の階の数	1
高さ	
最高の高さ	24342.4 mm
最高の軒の高さ	23292.4 mm
地盤面の高さ	設計GL± -172.4 mm

※ 寸法は、GLOBEの「オプション (CAD 環境)」にある「表記法設定」の「寸法」の「距離」の設定を参照して描画されます。